

I 施設の概要

施設名	荒川さつき会館				
所在地	荒川八丁目16番13号				
所管部署	総務企画課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成元年 422,749	国・都	区債	一般財源
	増改築① 増改築②				
竣工年月日	平成元年4月1日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成元年6月1日		職員数	3	0
構造	RC造		階層	2階	
面積	敷地面積	2,209.16㎡			
	延床面積	1,499.58㎡			
設置目的・経緯	地域住民の相互交流及び自主的活動を促進し、区民生活の向上に寄与するとともに、人権施策の推進を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	東京都同和問題懇談会答申 荒川さつき会館条例				
駐車場の状況	5台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	19台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	その他	一部委託(管理業務・清掃業務)	期間	平成元年	から まで	
事業内容	(1) 区民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供に係る事業 (2) 区民の学習・文化活動及びスポーツの振興等に関する事業 (3) 人権問題に係る啓発に関する事業 (4) その他、区長が必要と認める事業					
対象者	区内在住・在学の方(団体利用は事前の団体登録が必要)					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	原則として、年末年始(12月29日～翌年1月3日)				
利用者数等		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(見込み)
	年間利用者数(数)	24,476	23,327	25,003	26,435	26,567
	年間利用可能日数(日)	352	352	353	355	353
その他		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(見込み)
	年間団体利用件数(件)	1,631	1,599	1,741	1,731	1,731

III 財務諸表

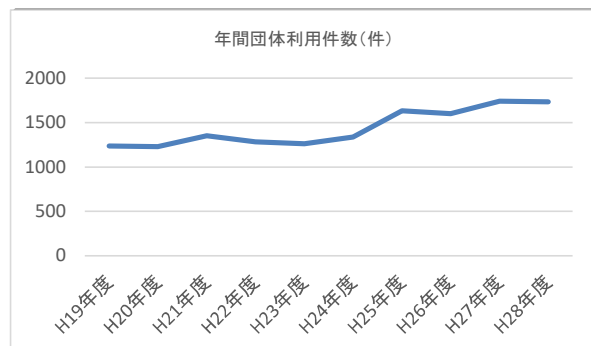
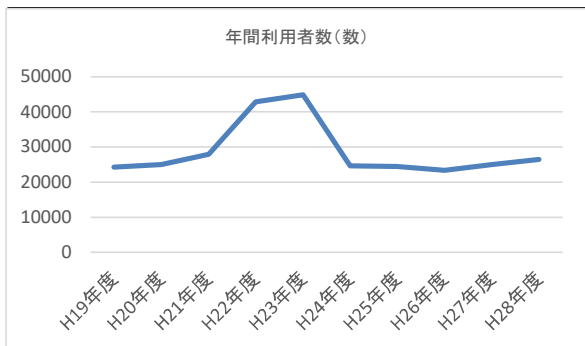
(単位:千円)

	勘定科目			H27年度	H28年度	差額	勘定科目			H27年度	H28年度	差額
	行政費用	行政収入	特別費用				行政収入	特別収入				
行政コスト計算書	給与関係費	-	12,403	-	地方税等	-	0	-				
	物件費	-	9,959	-	国庫支出金	-	0	-				
	維持補修費	-	1,208	-	都支出金	-	0	-				
	扶助費	-	0	-	分担金及び負担金	-	0	-				
	補助費等	-	402	-	使用料及び手数料	-	1,007	-				
	減価償却費	-	11,414	-	その他	-	158	-				
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-	行政収入合計(a)	-	1,165	-				
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	760	-	行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 34,981	-				
	その他行政費用	-	0	-	金融収支差額(d)	-	0	-				
	行政費用合計(b)	-	36,146	-	通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 34,981	-				
特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-					
特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 34,981	-					
貸借対照表	勘定科目			H27年度	H28年度	差額	勘定科目			H27年度	H28年度	差額
	流動資産	収入未済	-	0	-	流動負債	-	554	-			
		不納欠損引当金	-	0	-	還付未済金	-	0	-			
		その他の流動資産	-	0	-	特別区債	-	0	-			
	有形固定資産	-	1,200,449	-	賞与引当金	-	554	-				
	土地	-	1,085,884	-	その他の流動負債	-	0	-				
	建物	-	422,749	-	固定負債	-	3,586	-				
	建物減価償却累計額	-	▲ 308,184	-	特別区債	-	0	-				
	工作物等	-	10,233	-	退職給与引当金	-	3,586	-				
	工作物等減価償却累計額	-	▲ 10,233	-	その他の固定負債	-	0	-				
無形固定資産	-	0	-	負債の部合計	-	4,140	-					
建設仮勘定	-	0	-	正味財産	-	1,196,309	-					
その他の固定資産	-	0	-	正味財産の部合計	-	1,196,309	-					
資産の部合計	-	1,200,449	-	負債及び正味財産の部合計	-	1,200,449	-					
備考	行政費用では、給与関係費と減価償却費が多くかかっている。物件費のうち、大部分を占めるのは委託料であり、内訳としては管理業務委託に3,304,800円、館内清掃委託に2,119,333円がかかっている。											

指標		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	73.5	-
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	-	24,104	-
	人にかかるコストの割合(%)	-	-	-	36.4	-
	受益者負担比率(%)	-	-	-	2.8	-
	利用者1人当たりコスト(円)	-	-	-	1,367	-
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	-	101,820	-

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	団体利用回転率	実績値 24	23	25	25	25
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他( )					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: ) <input checked="" type="radio"/> 無					
現状・課題	<p>○施設の老朽化 開館から長期間経過し、施設の老朽化とともに、施設内の設備や備品も劣化してきており、改修や修繕等、買替え等を計画的に行っていく必要がある。</p> <p>○地域住民の相互交流および人権施策推進の拠点としての会館づくり 地域住民の相互交流を促すとともに、人権問題に対する垣根を取り払えるような会館づくりを行う必要がある。また、さらなる人権啓発を推進していくためには、新規利用者の拡大に向けた施策が必要である。既存事業の見直しや新規事業の企画などを検討していく必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○施設の老朽化および、施設内の設備や備品の劣化については、改修や修繕、買い替え等を計画的に行っていく。</p> <p>○新規利用者拡大のため、既存事業の見直しおよび新規事業の企画を進めていく。</p>					
議会、利用者等からの意見	平成22年1定 さつき会館のふれあい館化について					



I 施設の概要

施設名	男女平等推進センター（アクト21）				
所在地	東尾久五丁目9番3号				
所管部署	総務企画課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成8年	国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
竣工年月日	平成8年3月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成8年7月	職員数	3	0	
構造		階層	地上3階・地下2階		
面積	敷地面積		1031.56㎡		
	延床面積		1468.65㎡		
設置目的・経緯	女性の社会的地位の向上及び社会参画を促進し、男女共同参画社会の実現をめざすための拠点とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区立男女平等推進センター条例、同施行規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	● エレベーター ● 点字ブロック	● だれでもトイレ ○ スロープ	
駐輪場の状況	50台				



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から まで	
事業内容	(1)男女平等の推進に係る講演会及び講習会の実施に関する事業 (2)男女平等の推進に係る図書及び資料の収集並びに利用に関する事業 (3)男女平等の推進に係る相談に関する事業 (4)男女平等の推進に係る団体及び個人の相互交流に関する事業 (5)地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供に関する事業 (6)前各号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業					
対象者	男女平等推進団体、一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、定期清掃日(年4回)				
利用者数等		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(見込み)
	施設利用者数(人)	45,973	49,049	54,507	51,684	52,218
	利用可能日数(日)	355	355	356	355	355
その他		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(見込み)
	相談件数(件)	291	279	303	292	313
	貸出施設利用件数(件)	1,844	1,714	1,755	1,651	1,668

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			H27年度	H28年度	差額	勘定科目			H27年度	H28年度	差額	
	H27年度	H28年度	差額				H27年度	H28年度	差額				
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	-	24,517	-	行政収入	地方税等	-	0	-			
		物件費	-	18,665	-		国庫支出金	-	0	-			
		維持補修費	-	2,130	-		都支出金	-	0	-			
		扶助費	-	0	-		分担金及び負担金	-	0	-			
		補助費等	-	3,295	-		使用料及び手数料	-	3,637	-			
		減価償却費	-	26,271	-		その他	-	85	-			
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-		行政収入合計(a)	-	3,722	-			
		賞与・退職給与引当金繰入額	-	1,503	-		行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲72,659	-			
		その他行政費用	-	0	-		金融収支差額(d)	-	0	-			
		行政費用合計(b)	-	76,381	-		通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲72,659	-			
特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-						
特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲72,659	-						
貸借対照表	固定資産	勘定科目			H27年度	H28年度	差額	勘定科目			H27年度	H28年度	差額
		流動資産	収入未済	-	0	-	流動負債	-	1,094	-			
		有形固定資産	不納欠損引当金	-	0	-	還付未済金	-	0	-			
			その他の流動資産	-	0	-	特別区債	-	0	-			
			土地	-	636,112	-	賞与引当金	-	1,094	-			
			建物	-	961,193	-	その他の流動負債	-	0	-			
			建物減価償却累計額	-	▲544,997	-	固定負債	-	7,089	-			
			工作物等	-	7,279	-	特別区債	-	0	-			
		工作物等減価償却累計額	-	▲7,279	-	退職給与引当金	-	7,089	-				
		無形固定資産	-	0	-	その他の固定負債	-	0	-				
建設仮勘定	-	0	-	負債の部合計	-	8,183	-						
その他の固定資産	-	956	-	正味財産	-	1,045,082	-						
資産の部合計	-	1,053,265	-	正味財産の部合計	-	1,045,082	-						
					負債及び正味財産の部合計	-	1,053,265	-					

備考 行政費用では、給与関係費や減価償却費に次いで物件費や維持補修費が多くなっている。内訳として、光熱水費に3,188,217円、委託料に14,083,867円、家屋等修繕費に1,395,941円その他、電話設備改修に734,400円かかっている。

指標		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	57.0	-
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	-	52,008	-
	人にかかるコストの割合(%)	-	-	-	34.1	-
	受益者負担比率(%)	-	-	-	4.8	-
	利用者1人当たりコスト(円)	-	-	-	1,478	-
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	-	215,158	-

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )						
目標指標	指標名・単位	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)	
	講演会・講座等の参加者数(人)	目標値 1,300	1,400	1,500	1,800	1,800	
		実績値 1,167	1,424	1,643	1,759	1,800	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )						
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無						
現状・課題	<p>○男女共同参画の拠点として、講座や講演会等の啓発事業のほか、区民相互の交流を推進するコミュニティ施設の役割を担っている。</p> <p>○平成8年の開設から20年が経過し、経年劣化による修繕の必要箇所が増えてきている。</p> <p>○より広く区民に区の取組や施設をPRしていく必要がある。</p>						
課題に対する現時点での考え	<p>○利用者の安全性や利便性を確保しながら、計画的に改修及び修繕に取り組んでいく。</p> <p>○区の広報媒体を活用し、事業や施設の情報を積極的に発信していく。</p> <p>○実施時間帯等、区民がイベントに参加しやすい工夫をする。</p>						
議会、利用者等からの意見	(平成28年アクト21区民アドバイザー会議) 継続的な活動のための支援、事業への参加しやすさへの配慮						

